

那須塩原

滝と花を訪ねて

100 回登頂を目指す V I V O は、今回胸突き八丁手前の 70 回目を迎えた。人生で言えば古希、今回趣向を変えバスツアーの旅に。

台風 5 号が、各地に大雨の被害をもたらした翌日の 10 日、雲の垂れ込める中、10 名を乗せ松山駅をバスは 7:30 分出発。

行き先は栃木県だ、圏央道から東北自動車道に入り、那須インターで降りる。



回顧の滝

日光と塩原の間に有る「日塩もみじライン」の中程、ユリで知られる「ハンターマウンテン塩原」国内で 1、2 を争う。ユリの花園だ。心配された空模様も北へ行くにつれ、薄日が射し、天気の手配はなくなる。

急な階段もどこ吹く風？

先ずは、回顧の滝（みかえり）、下った先の吊り橋を渡ると、滝は目と鼻先、滝は対岸に見える。帰路は急登を選び、汗をかきかきキツイ登りを駐車場まで登りきる。

次は本日メインの「ハンターマウンテン塩原」だ。フラワーリフトに乗ること 10 分、足下は色とりどりのユリ・ユリの群生地。暑からず寒からずの気温の中下りは、リフトは使わず足の向くまま、気の向くまま・・・程良い傾斜を「ユリと美女」のタイトルで写真を撮まくる。



時には芝生に腰を下ろし、お喋りに花を咲かせる。
案内書にユリ 400 万輪と有るが、まさにその通り、どこを向いてもユリ・ユリ
ユリの中を 50 分程かけ、ゆるい傾斜地を駐車場まで下りを楽しむ。

ユリと別れたら次は「那須フラワーワールド」、午後 2 時を廻ったというの
に、まだ北へ向い走っての見学となる。那須インターから高速に入り、那須高
原スマートインターで降りる。インターを降りれば 10 分ほどで到着。



こちらは 5 万株のへメロカリスの予定だが、
最盛期は過ぎていて別の花を見て回る。

フラワーワールドの花歴は、4月のチューリップから始まり10月末のコスモスまで楽しめるという説明されている。



広大な敷地を花いっぱいにするのは、並大抵な労力ではないと思う。

大自然を訪れると、皆心豊かで穏やか気分になれる。

時には喧騒の中を抜けだし、自然の中に身を置き、仲間と触れ合う事で元気100増に！！

山も登って下って、疲れだけが残るように思うかも知れない、然しそれは全く違う。出かけるまでの高揚感、仲間と足並みを揃えて登れた事の充実感、これは出かけた人にしかわからない醍醐味だ。



出かけるなら、「今でしょう！！」

“何故”って今が一番若いでしょ。

記事 : 浅見